

令和2年3月30日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧市議会 公明党議員団
代表 神山 哲太郎

新型コロナウイルス感染症緊急対策強化に関する要望書

未だに終息の見えない標記の件、私どもは連日市民の声をお聞きする中で多くの課題やご要望を頂いております。特に、3月28・29日に各種企業団体要望をお聞きして参りました。つきましては下記のとおり、早急な対処・対応をしていただきたくお願い申し上げます。

記

【以下、苫小牧漁業協同組合 関連】 ※国・道への働きかけを含めてお願い申し上げます。

- ・これから先、様々な対処・対応を頂く事となるが、広い視野に立ちトータル的に見ての対応を。
- ・事態終息後の対応・手当が最も大切になるので現在の状況を見ながら準備を。
- ・魚価（北寄貝を中心に高級魚など）の下落（北寄貝は2月中より3月末で約25%減）が止まらず、休漁日を設けるなど全漁業は出荷調整による価格調整を実施、これから更に下落の恐れあり、食品流通の閉そく解消を。
- ・現在は供給過多の状態、（スーパーなどの量販店向けは17%増、宿泊施設・外食産業など向けは31%減）打開策は消費行動が活発になること、更なる消費行動の起爆剤となる施策を。
- ・飛行機の減便による影響（翌日到着が翌々日など）は多大、すべての流通の一日も早くに流通の健全化を。

【以下、苫小牧弁当仕出協同組合 関連】 ※国・道への働きかけを含めてお願い申し上げます。

- ・葬儀・法事などの行事催し時に利用される仕出し関連は大打撃、弁当も例えばスポーツイベント・大会・合宿などが中止になるなどの影響がある、更には組合としての共同受注は大きく下がった。各分野、現状認識を。
- ・弁当仕出し業界の経営者は比較的団塊の世代が多く、今回の打撃を理由にして引退しようと思いやすい年齢の方が多く、業界としては大きな痛手、事業継承対策含めた事業者に対する助成の強化を。
- ・今こそ苫小牧市の産業及び経済の発展、並びに市民生活の向上に寄与することを目的として、平成25年4月1日に施行された、苫小牧市中小企業振興条例にうたわれている各立場での役割を果たすべき時、一律ではなく大企業、役所内、市民にそれぞれのすべきことの周知を。
- ・そのうえで、本年、大手企業数社で大規模修繕が予定されており、数万人規模とも言われている中で、過去を見ると弁当注文が市外に注文されている状況、市内に流れてくるように経営努力はしているが、仮に市内業者を使うという流れがあれば是非ともそのながれを。
- 市役所の7階に相談窓口が設置されているのですが、どうしても後ろめたい気持ちになりながら行くので敷居が高いイメージで入りにくい、おまけに入ったらエレベーターまで行くのもどう行ってよいのか、ようやくたどり着いて初めて7階相談窓口がわかります、この時期だけでも良いので1階ロビーに相談窓口の人員配置を。

【以下、ホテル旅館協同組合 関連】 ※国・道への働きかけを含めてお願い申し上げます。

・直接市長に要望されたとお聞きしましたが、売り上げベースで3月前年比50%減、週末予約9割キャンセルの現状のなか、目の前にせまっているのが、固定資産税の支払い期限(4月30日)。施策で出していないのが固定資産税で減免の方向にはならないだろうか。

・本年、大手企業数社で大規模修繕が予定されており、数万人規模とも言われている中で、ホテル・旅館もすごく期待しているし、そこまで頑張れば何とかとの気持ちである。しかし、その時期(5~6月)まで現在はスタッフを休ませているところもあるが、実際は給料持ち出しでも良いので人材を確保している現状、ぐっとこらえてこのような采配をしている現状、次なる施策につなげて頂きたい。

【以下、日本料理研究会 関連】 ※国・道への働きかけを含めてお願い申し上げます。

・3月は移動の時期(企業全般、役所、学校など)、様々な自粛で大打撃を受けたお店が多いのではないかと、特に市中心街は深刻で廃業休業した店はたくさんある、その中で収入が無いのに借入れを起こしてもと融資を利用するのは最後の手段であると我慢している状態、是非とも幅広く助成を。

・食材は間違いなくダブっているが、仲卸業者から小売りはいつもと変わらない取引状況が見える、流通の健全化を。

・食と観光の北海道と発信してからみんな頑張ってきたのではないかと、こういう時だからこそ食と観光で踏ん張らなければならない、更なる消費行動の起爆剤となる施策を。

【以下、室蘭地区バス協会(道南バス株) 関連】 ※国・道への働きかけを含めてお願い申し上げます。

・昨年までは右肩上がりの中、前年比売り上げベースで1月は30%減、2月3月は70%減の現状、観光貸し切りバスの実態は2月スキーなど、3月はすべてにキャンセル、更には4~7月のキャンセルが始まっている。胆振東部地震の時は復興割などの施策があり何とか動いていたが、今回は先が見えない、是非とも幅広く助成を。

・苫小牧市においては学校の休校に伴うスケート学習の送り迎えのキャンセルが大きい。

・学校の休校に伴う運賃の払い戻しが一気に来た。

・路線バスに関しては「空気を運んでいるような感じ」と表現しても良いぐらいだった、実際1路線走って消毒を行っており、換気なども十分対策を講じている、長距離便は減便を余儀なくされたが、このままでは町路線も減便を講じなければならなくなる、年契約のところはもう少しだけでも支援を。

・運転手は現状あふれている状態ではあるが、業務の性質上雇用調整の方法に無理があるところあり、会社の責任として今だからこそいつでも動ける体制を整え、雇用を確保するなどの企業努力をしている、次なる施策につなげて頂きたい。

・特にドライバー用のマスクが足りない、マスクの中にガーゼを入れ、取り換えして長く使用するなど個人レベルで知恵を出しながら耐え忍んでいる現状、マスクに関しては非常に厳しい現状です。

以上